

教育目標		「つながり」いっぱい だれもが行きたくなる学校 ～言葉をつなぎ、心をつなぎ、学びを未来につなげる子どもの育成～								
重点目標		①対話を通した深い学びの実現 ②あたたかい学級づくり ③協働的な風土を持つ教職員 ④開かれた学校づくり ⑤「未来」につながる教育活動の推進								
施策	実施策の目標	重点項目	具体的施策	達成目標	自己評価	成果と課題	改善策	学校関係者の評価		
学校教育	<p>知・徳・体の調和のとれた児童・生徒の育成</p> <p>研究</p> <p>「確かな学力」の育成</p> <p>①授業改善</p> <p>②誰一人取り残さない取組</p> <p>③学校・家庭・地域の連携</p> <p>④情報活用能力の育成</p> <p>⑤英語教育の充実</p> <p>⑥デジタル化の促進</p> <p>情報 外国語</p> <p>生指・道徳・人権</p> <p>「豊かな心」の育成</p> <p>①道徳教育の推進</p> <p>②いじめ等の未然防止、早期発見、早期対応に向けての組織的な取組の推進</p> <p>③不登校の児童生徒やその保護者への支援体制の充実</p> <p>④体験活動等の実施</p> <p>食育・体育</p> <p>「健やかな体」の育成</p> <p>①児童生徒の体力向上の促進</p> <p>②魅力ある部活動の推進</p> <p>③発達段階に応じた健全な食育の推進</p> <p>キャリア教育・特別支援教育相談・支援体制の充実</p> <p>①キャリア教育の推進</p> <p>②スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの活用</p> <p>③教育相談の充実</p> <p>特別支援</p> <p>特別支援教育の推進</p> <p>①伊丹特別支援学校の活性化</p> <p>②特別支援教育の充実</p> <p>研究</p> <p>教職員の資質向上</p> <p>①研修等の充実</p>	<p>・主体的、対話的に深く学ぶ態度を育てる</p> <p>・「対話的な学び」の視点からの授業づくりに取り組む</p> <p>・話す・聞く力を鍛える</p> <p>・学習習慣の定着を徹底する</p> <p>・外部人材の活用</p> <p>・ICTを活用する等、児童の興味関心を高める活動を取り入れた授業の実施</p> <p>・児童の英語のコミュニケーション能力と英語学習への意欲の向上</p> <p>・人との関わりを大切にすることの育成</p> <p>・不登校対策の実施</p> <p>・不登校等への積極的活用</p> <p>・研修等による教職員の意識向上</p> <p>・学校園・家庭・地域と連携した発達段階に応じた運動の指導の創意工夫及び授業改善</p> <p>・運動やスポーツの習慣化を狙いとしたICTの積極的な活用</p> <p>・学校園全体での健康教育の推進</p> <p>・食育の推進</p> <p>・キャリア教育の充実</p> <p>・S.C.による年2回のカウンセリングマインド研修の実施</p> <p>・カウンセラー1名の発行</p> <p>・S.C.やS.S.W.との情報共有</p> <p>・児童の実態把握に基づいて個別の支援計画等を作成し、適切な対応を行う。</p> <p>・それぞれの子ども、校内支援体制を確立する。</p> <p>・教員の専門性の向上を図る。</p> <p>・校内授業研究会の充実</p> <p>・校内研修の充実</p> <p>・学校運営協議会の定期開催と内容の充実</p> <p>・地域ボランティア等の活動の活性化</p> <p>・土曜学習の充実</p> <p>・防犯訓練・防犯訓練</p> <p>・危機管理意識の高揚</p> <p>・安全な環境の整備</p> <p>・清潔で活動しやすい環境の整備</p> <p>・交通安全教室の実施</p> <p>・1年生の交通安全教室の実施</p> <p>・月1回の安全管理点検</p> <p>・安全研修会の実施</p> <p>・積極的な清掃活動の実施</p> <p>・ノー会議デー、定時退勤日の完全実施</p>	<p>・「話し合い」活動を取り入れた授業の提案を全職員が行う。</p> <p>・校内研究会の事後研修で、成果と課題を職員で交流する</p> <p>・外部人材との連携・協力を進める。</p> <p>・授業においてICT機器を活用する。</p> <p>・外国語をはじめ、各教科の学習においてiPad等、ICT機器を積極的に活用する。</p> <p>・外国語のデジタル教科書を3年生以上の授業で活用する。</p> <p>・学校行事と照らし合わせ、適宜ALTの追加派遣を申請して活用する。</p> <p>・年2回、いじめアンケートの実施</p> <p>・いじめアンケートの項目の見直し</p> <p>・不登校対策支援員の活用</p> <p>・不登校傾向にある児童に対し、個別に支援する。</p> <p>・年3回、人権研修会の実施</p> <p>・3年生で環境体験学習、5年生で自然学校を実施する。</p> <p>・年間指導計画を見直し、指導要領における身に付けるべき力が獲得できるのか、楽しく運動に親しみ内容になっているかを見直す。</p> <p>・スポーツテストを通して、自身の運動能力を知ること、より運動への意欲が向上するよう取り組む。今年度は全校生実施があたり、その意義や良さについて全学年が実感できるように取り組む。</p> <p>・教職員アンケート「児童に正しい職業観・勤労観を身に付け、仕事や働くことの大切さを教えている」項目において肯定的に回答した割合が85%以上</p> <p>・児童用アンケート「働くことの大切さについて教えてくれる」項目において肯定的に回答した割合が80%以上</p> <p>・不登校児童の学校への復帰および教育支援センターへの出席</p> <p>・特別支援学級に在籍する児童の特性や支援について月1回の校内委員会や年2回の校内研修会等で交流を行う。</p> <p>・年1回以上特別支援教育参観(授業公開)を実施する。</p> <p>・コンサルテーションや巡回相談の実施等、関連機関と積極的に連携する。</p> <p>・全学年1本の校内授業研究会の実施</p> <p>・事前・事後研究会を工夫する。</p> <p>・全教職員が話し合い活動を取り入れた授業公開を行う。</p> <p>・自主研修会「まなべる」を実施する。</p> <p>・教職員アンケート「授業方法について互いに学び合い授業力向上に努めている」項目において肯定的に回答した割合が90%以上</p> <p>・全教職員の一人一授業完全実施</p> <p>・年6回以上の自主研修会「まなべる」の実施</p> <p>・教職員アンケート「緊急時対応マニュアルを作成し、組織的な対応ができるよう準備している」項目において肯定的に回答した割合が90%以上</p> <p>・児童・保護者アンケート「学校は、地震や火事・不審者から自分を守る方法を指導している」項目において肯定的に回答した割合が90%以上</p> <p>・児童・保護者アンケートで学校施設の使いやすさを問う項目において、肯定的に回答した割合が80%以上</p> <p>・教職員アンケート「業務改善を行っている」教職員の働き方について改善を行っている」項目において肯定的に回答した割合90%以上</p>	<p>・研究アンケート「対話を意識した授業づくりができた」項目において肯定的に回答した割合が95.5%であった。</p> <p>・児童アンケート「授業は、分かりやすく楽しい」項目において肯定的に回答した割合が91.4%、「先生は、教え方に工夫している」項目において肯定的に回答した割合が96.3%と両項目において高かった。</p> <p>・児童アンケート「話し合い等で自分の意見を言うことができる」項目において肯定的に回答した割合が75.7%であった。</p> <p>・全国学力・学習状況調査児童質問紙の対話に関する項目「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」や「学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか」などの項目において、肯定的に回答した割合が全国平均よりも高かった。</p> <p>・研究テーマである「対話」を意識した授業が定着しつつあるが、子どもたちの対話スキルの定着に関してはまだ不十分である。</p> <p>・教職員アンケート「ICT機器を授業に生かされた。」において肯定的な回答が90%以上となり、職員が積極的にICT機器を授業などで活用できていることがわかった。また「情報モラル教育に取り組むことができた。」でも90%以上肯定的な回答があり、職員の意識の高さが見られた。</p> <p>・児童アンケート「調べ学習や家庭学習でタブレットを活用することができている。」において肯定的な回答が90%を超えており、タブレット端末の活用が定着してきている。また保護者アンケートの項目でも昨年度より肯定的な回答が増え、家庭でもICTの活用が進んでいる。</p> <p>・外国語の授業では、デジタル教科書を毎時間活用した授業を行うことができた。</p> <p>・ALTの追加派遣は、毎学期1回以上の追加派遣ができ、児童と触れ合う機会が増えた。</p> <p>・全国学力・学習状況調査児童質問紙「自分にはよいところがある」項目において、肯定的に回答した児童の割合が88.9%であった。</p> <p>・教職員アンケートによる児童への対応、保護者への対応にも丁寧に努めている。</p> <p>・児童アンケートによると「悩みがあったときに先生に相談する」と回答した児童が66.5%と、低かった。</p> <p>・令和7年度の不登校児童数は7名となり、前年度と同数である。</p> <p>・不登校児童の安心できる居場所づくりとしてサポートルームの整備が完了した。2名の利用があり、運用面でも課題はあるが、職員に結びついている。</p> <p>・ケース会議や報告会を取ること、職員同士の情報共有ができていく。</p> <p>・教職員アンケート「本校の人権教育の推進は、適切に行えているか。」の項目において肯定的に回答した割合が100%だった。</p> <p>・引き続き、職員での人権研修会を行っている。</p> <p>・外遊びを今まで以上に推奨していたために、教師も子どもたちと積極的に外で関わるよう努めた。</p> <p>・今年度、スポーツテストの結果が全国平均や市内平均を上回っている。これを継続させるために、子どもたちが運動の楽しさを感じられたい運動習慣が身につくよう取り組むを行っている。</p> <p>・今後も委員会活動等を通して、食への意識を高めていく。</p> <p>・本年度だけではなく、前年度の振り返りの時間を設けるなど、児童が「成長」を感じる活用の仕方を工夫する。</p> <p>・子ども家庭センター、警察、医療機関等との連携を深め、専門機関から講師を招聘した研修会を実施する。</p> <p>・6月になかよし2者懇談会、3月にお別れ会を実施し、年2回の場を持ち保護者との交流を深めることができた。</p> <p>・算数科を中心に支援体制を整えることができた。</p> <p>・通常学級に在籍する児童の特性や支援について、月1回の校内委員会や校内研修会等で交流することができた。</p> <p>・放課後等に連絡担当教員との連絡会をもうけることができた。</p> <p>・教職員アンケート「個別の指導計画や引き継ぎに基づき指導方法を工夫し、児童一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導に努めている」等の項目において肯定的に回答した割合が100%だった。</p> <p>・コンサルテーションや巡回相談等、関連機関と積極的に連携をとることができた。</p> <p>・来年度も引き続き「対話」をテーマに研究を行い、話し合いだけではなく、それらが深い学びへとつながっていくことが実感できるような授業づくりについて研修を積む。</p> <p>・校内の研修会を充実させると共に、外部での研究会のアナウンスを行い、教職員の学びの場をしっかりと確保する。</p> <p>・学校運営協議会の会長と連携をとり、地域を巻き込んだ教育活動を実施することができた。(ex.校外探検の見守り、清掃活動、九九学習サポーター、卒業前奉仕活動)</p> <p>・コーディネーターを中心に、近隣高校タイアップした土曜学習を開催したり、漢検・算検・英検を実施したりした。</p> <p>・学校HPや学校だよりで、地域を巻き込んだ教育活動や土曜学習について周知した。</p> <p>・教職員の学校運営協議会や土曜学習の取り組みへの認知度が低い。</p> <p>・PTAの組織体制の見直しは進捗中である。</p> <p>・学校運営協議会やPTAと教職員とが連携して活動する場を模索していく。</p> <p>・児童にも地域の一員であるという自覚を持たせる活動に取り組む。</p> <p>・人員を確保した体制をとり、働き方改革などを行うべきだ。</p> <p>・働き方改革のしわ寄せが、地域との連携などに表れてくると思う。</p> <p>・PTAが弱体化してきて、学校運営協議会や地域への押し付けが来ているように感じる。</p>	<p>・話す・聞く力のスキル向上のため、引き続き、週に1度朝学習の時間を使って対話トレーニングを取り入れる。また、話す聞く単元の系統表を作成し、スキルが積みあがるよう対話トレーニングを工夫していく。</p> <p>・職員、児童ともにICT機器の活用については目標を達成できた。だが、タブレット端末を使った問題行動は起きているので、今後子どもの実態に合わせた情報モラル教育に取り組んでいく。また機器の更新などもあったため、来年度は機器の使い方や情報モラル教育の研修会を行い、教師のICT活用能力を向上させていく。</p> <p>・家でタブレットを活用して課題の提出や音読カードなどに取り組んでいる姿がある。夏の課題である絵日記も写真を撮り、タブレットで提出していた。活用が進んでいる姿が見られるとともに、子どものスキルも上がっている。</p> <p>・家庭でのタブレットの使い方は、家庭でしなくてはならない。</p> <p>・サポートルームの運営の仕方については、他校との情報交換の場が必要である。</p>					
		<p>管理職</p> <p>学校を支える組織体制の整備</p> <p>①コミュニティ・スクールの充実</p> <p>②地域と学校の連携・協働体制の構築</p> <p>安全・管理職</p> <p>安全・安心な教育環境の充実</p> <p>①学校防犯訓練・防災教育の充実</p> <p>②交通安全対策の推進</p> <p>③交通安全対策の推進</p> <p>④学校施設の整備・維持保全</p> <p>⑤学校における働き方改革の推進</p>	<p>・年間を通して、計画的、定期的な訓練の計画実施により、教職員の共通理解を図る。</p> <p>・児童への事前指導の徹底</p> <p>・登下校の安全と安全指導の工夫改善</p> <p>・自転車安全教室の実施</p> <p>・1年生の交通安全教室の実施</p> <p>・月1回の安全管理点検</p> <p>・安全研修会の実施</p> <p>・積極的な清掃活動の実施</p> <p>・ノー会議デー、定時退勤日の完全実施</p>	<p>・教職員アンケート「緊急時対応マニュアルを作成し、組織的な対応ができるよう準備している」項目において肯定的に回答した割合が90%以上</p> <p>・児童・保護者アンケート「学校は、地震や火事・不審者から自分を守る方法を指導している」項目において肯定的に回答した割合が90%以上</p> <p>・児童・保護者アンケートで学校施設の使いやすさを問う項目において、肯定的に回答した割合が80%以上</p> <p>・教職員アンケート「業務改善を行っている」教職員の働き方について改善を行っている」項目において肯定的に回答した割合90%以上</p>	<p>・アンケート「緊急時の対応について理解している」肯定的回答の割合は、教職員100%、保護者97%、児童97.9%</p> <p>・児童・保護者アンケート「学校は学習の場として活動しやすい環境が整っている」肯定的回答の割合は、保護者98.5%、児童98.2%</p> <p>・年度初めに「安全研修会」を持ち、全教職員が児童の安全への意識をより高めた。</p> <p>・教職員アンケート「業務改善を行っている」肯定的回答の割合は95.6%</p> <p>・「教職員の働き方について改善を行っている」肯定的回答の割合は100%</p> <p>・学期に1回、業務改善委員会を開き、職員の働き方や学校のルールなどについて話し合い、実践することができた。</p>	<p>・目標にしていたアンケート項目の数値は昨年度より上回っているのので、日々の指導を継続する。</p> <p>・環境整備や安全指導は今後も継続的に取り組む。</p> <p>・カーコース別下校に集団下校の要素も取り入れて取り組んでほしい。異学年交流の場を持つと、そのままと下校をするのもよい。</p> <p>・カーコース別下校に集団下校の時に、進路に立つなどの協力は地域でもできる。</p> <p>・子どもたちは通学路を正しく知っているのか？定期的に確認する機会も必要なのではないか。</p>				
		<p>学校関係者評価総括</p> <p>学校・家庭・地域が連携し、三者の参画と協働で学校力をアップさせ、今後も子どもたちの成長を見守っていく。</p> <p>コロナ禍や教職員の働き方改革等で見直されてきた行事等について、より意義のあるものにしていけないか考えていく。</p> <p>次年度に向けた重点的な改善点</p> <p>組織体制を見直し中であるPTAと、学校・地域との連携について協議していく。</p> <p>児童の対話力の向上、対話を通した自己実現を目指し、教育活動を展開していく。</p> <p>前例踏襲ではなく、前年度よりも、よりよい学校づくりを目指して取り組んでいく。</p>								